



私たち日本演出者協会の社会包摂部では、2020年より「演劇で人と人、地域・社会と人をつなげる」ことを目標に、『社会と知的障がい者施設を演劇でつなぎ地域のプラットフォームをつくる事業』を文化庁助成により始めています。昨年に引き続き、全国のネットワーク作りのためのシンポジウムを企画いたします。多くの演劇人に「障がいのある人たちとつくる演劇」について知って欲しい、また演劇を取り入れてみようと思われている施設の皆様の参考になればと願っております。

シンポジウム実行委員

柏木俊彦・黒田百合・菅田華絵・和田喜夫



■ 新井英夫 (あらひでお)

体奏家・ダンスアーティスト。自然にならぬ力を抜く身体メソッド「野口体操」を創始者より学び深い影響を受ける。劇団活動主宰を経てのちダンスへ。国内外の舞台活動と共に乳幼児から高齢者までバリアフリーに幅広い対象に向けた身体表現ワークショップ「ほぐす・つながる・つくる」を教育・福祉・社会包摂に関わる場で実施。2022年夏に神経性難病 ALS(筋萎縮性側索硬化症)の確定的診断を受ける。病を得て新たな視座から「にもかかわらずオモシロク生きる」をテーマに活動や発信を継続中。



■ 川口淳一 (かわぐちじゅんいち)

作業療法士(茨城県)。長崎大学医療技術短期大学部卒。長崎では学習障がい児との演劇活動「このこ劇団」を立ち上げ、作業療法士の視点から演劇をコミュニケーションツールとして応用。その後、北海道富良野市の介護老人保健施設にて、高齢者が演劇創造に参加する機会を提供し、役割が明確な作業の効果について検証する。著書「リハビリテーションの不思議～聞こえてくる高齢者のこえ～」(青海社)がある。

ゲスト・パネリスト ■ 黒田百合(くろだゆり / 石川県・Ten seeds、劇団夢宇人、日本演出者協会 社会包摂部)



オンライン・シンポジウム Part.5
『障がいのある人たちとつくる演劇の可能性!』
12/9(土) 10:00~13:00

楽しくつながるプロジェクト 2023「オンライン報告会」として、奥多摩町(東京都西多摩郡)、東京都立川学園(東京都立川市)、特定非営利活動法人虹のかけはし(静岡県三島市)での演劇ワークショップや成果発表の様子を、ファシリテーター、参加者および施設従事者等の方々と一緒にご紹介いたします。

【お問合せ・お申込】 申込期日 7/28(金) 12:00まで

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。
参加ご希望の方は、オンラインチケットシステム「Peatix」からお申し込みください。

応募フォーム



※上記システムがご利用になれない方は、下記の情報を明記の上、メールでお申込みください。宛先 tunagaruengeki@gmail.com

- ①お名前 ②フリガナ ③メールアドレス
④ご所属・役職 ⑤電話番号

オンライン会議ツール「Zoom」を使用します。
お申し込みいただいた方に、7月28日20時までにメールで配信URLをお知らせします。

日本演出者協会は、ハラスメント防止に努めています。参加のお申込みをされる前に、必ずこちらの「日本演出者協会事業におけるハラスメント防止ガイドライン」をご確認ください。



https://www.jda.jp/archive/docs/Harassment%20prevention_0802

日本演出者協会 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3F
TEL: 03-5909-3074 (平日11:00-18:00) FAX: 03-5909-3075

社会包摂部: (東北) 大河原準介 (関東) 明樹由佳、荒川貴代、小川絵梨子、落合咲野音、柏木俊彦、金子真美、河田園子、菅野直子、鯨エマ、黒木裕太、佐川大輔、櫻井拓見、菅田華絵、杉田健介、関根好香、谷口真紀、野崎美子、畠山邦男、前嶋の (北陸) 黒田百合 (関西) 佐藤拓道、庄崎隆志、高井恵美 (中国) 和田喜夫 (九州) 上田奈津美